

1990年初頭以来、作品の発表の「場」として〈造形教室〉のメンバーが自主的に準備や展示、運営を行い、毎年開催してきた「“癒し”としての自己表現展」。

“街の中で作品展を”という意図のもとに始められた本展は、病者や障害を持つ者への理解や同情といった多数者の立場、段差を超え、それぞれが自分自身の生き方を見つめ直す、かけがえない場・関係性を求め、試行してきました。

“パッション=受苦受難・情念情動”から生み出され、自らを癒し支える自己表現の活動は、困難な現代社会を生きる人々にとって通底・協働する問題を逆照射しているとはいええないでしょうか。

「生きる」とは何か…、「病む」とは何か…、「表現」とは何か…、今回もアートを通じた交感、交流の「場」となることも希（のぞ）んでおります。

平川病院〈造形教室〉

---

『第28回“癒し”としての自己表現展』

会期：11月30日（水）～12月4日（日）

時間：10時～18時（最終日は16時まで）

※12月3日（土）の14時からと4日（日）の13時から、作者が自作の前で語る〈ギャラリートーク〉を予定しております。

※東京都の感染状況によっては急遽中止となる場合もあるかもしれません。

会場：八王子市芸術文化会館「いちようホール」第1展示室（JR八王子駅から徒歩13分）

〒192-0066 八王子市本町24番1号 電話：042-621-3001

主催：平川病院

---

○お問い合わせ・ご連絡先

〒192-0152 東京都八王子市美山町1076

平川病院〈造形教室〉 安彦 講平・宇野 学

電話：042-651-3131（代） FAX：042-651-3133

Mail:m.uno@me.com（宇野）